

社会福祉法人 三心会

平成 28 年度 第 1 回 看護師会議

日 時 平成 28 年 8 月 22 日 (木) 16 時～

場 所 山田町第一保育所

出席者 豊間根保育園 野田シメ子

山田町第一保育所 佐々木舞

司会・記録 山田町第一保育所 佐々木舞

議題

1. 4 月～8 月の感染症・怪我の発生状況

	豊間根保育園	山田町第一保育所
4 月	水痘 27 名 B 型インフルエンザ 2 名	B 型インフルエンザ 2 名 伝染性紅斑 1 名 水痘 1 名
5 月	水痘 18 名 伝染性紅斑 1 名 マイコプラズマ感染症 1 名	B 型インフルエンザ 1 名 アデノウイルス感染症 1 名 マイコプラズマ感染症 3 名
6 月	溶連菌感染症 10 名 アデノウイルス感染症 2 名 水痘 1 名 マイコプラズマ感染症 1 名	水痘 6 名 アデノウイルス感染症 3 名 マイコプラズマ感染症 1 名 B 型インフルエンザ 2 名 溶連菌感染症 1 名 ウイルス性発疹 1 名
7 月	溶連菌感染症 5 名 アデノウイルス感染症 1 名	水痘 5 名 突発性発疹 1 名
8 月	溶連菌感染症 1 名 手足口病 1 名	水痘 1 名 マイコプラズマ感染症 1 名 ヒトメタニューモ感染症 2 名 ウイルス性発疹 1 名 手足口病 3 名 突発性発疹 2 名 伝染性膿痂疹 2 名
怪我	・0 歳児、家庭でボタン電池を飲み込む。受診し、様子を見るように言われる。夜に便と共に排泄される。	・家庭でドアや車に手を挟む子が数名いた。 ・外遊びで転倒による擦過傷はあるが、大きな怪我は無し。

最近の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・発熱＋発疹の症状の子が多く「夏風邪」と診断される。 ・便が緩い子がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に発熱＋発疹の症状の子が多く、診断は「夏風邪」や「ウイルス性発疹」で欠席の必要はなく、登所している。何か感染症が蔓延しているように思う。
-------	--	--

2. 病児保育室の利用について

- ・57名（延べ人数）の利用があった。昨年の同時期の利用人数を上回っている。
- ・水痘が流行したため、水痘での利用が多かった。
- ・小学生の利用もあった。

3. 研修の報告

6月5日 いわて看護職研修会「歯みがき指導について」

- 歯ブラシの保管について
 - ・1本1本洗い、まとめて洗わない。
 - ・消毒液は使わなくて良い。
 - ・乾燥させるのが大事である。
- 楽しく仕上げみがきができるように雰囲気作りをする。
- 虫歯予防には、朝晩の仕上げみがきが大事である。

7月20日 宮古市看護師学習会「低身長について」

- 低身長は早期発見・早期治療開始が重要である。
 - 早期発見をするためには、成長曲線を付ける事が大切である。
- ※添付資料参照

4. その他

- 保健指導について
 - ・子ども、大人両方への情報発信の場になっている。
 - ・寸劇をすると子どもたちに覚えてもらいやすい。
 - ・第一保育所 → 病児保育の予約が入り、予定通り行うのが難しい。
 - ・豊間根保育園 → 毎月指導の日が決まっているので行いやすい。
- 創処置、ハイドロコロイド剤の使用について

「消毒しない・ハイドロコロイド剤を貼用する」というのが主流になってきたが、保育所でもハイドロコロイド剤を取り入れた方が良いか？

 - ・家庭から貼ってくる子がいるが中には膿が溜まり、悪化させている子がいる。

- ・保育所では擦過傷がほとんどで、創口を無菌状態して使用しなければいけないので、完全洗い流せていない場合は悪化させてしまう可能性がある。
- ・保育所での創処置は今まで通り、創口を洗い流し、カット絆やガーゼ保護で良いのではないか？